

Japanese Utility Model Application, Second Publication No. Hei 7-40482

(Japanese Utility Model Application, First Publication No. Hei 6-20405)

A cloth 2 having a U-shape is fixed on the reverse surface of the front side of a piece of male underwear 10 for supporting the male organs. The two arm portions of the cloth 2 have elasticity, and the cloth 2 has a U-shaped opening. Male organs can be inserted through the opening into a pocket formed between the cloth 2 and the front side of the male underwear 10. In this state, the male organs can be supported by the elasticity of the arm portions.

7-40482

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-20405

(43)公開日 平成6年(1994)3月18日

(51)Int.Cl.⁵

A 41 B 9/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 2119-3B

審査請求 有 請求項の数 6(全 3 頁)

(21)出願番号 実開平4-12933

(22)出願日 平成4年(1992)2月6日

(71)出願人 591179053

上村 陽子

東京都目黒区下目黒2丁目1番22号 ハイ
ホーム目黒801

(72)考案者 上村 陽子

東京都目黒区下目黒2丁目1番22号 ハイ
ホーム目黒801

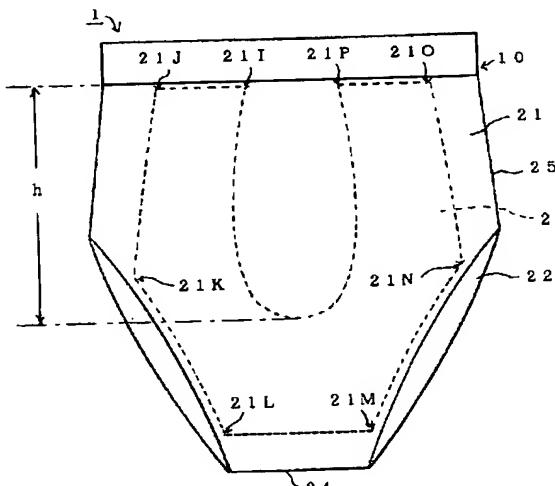
(74)代理人 弁理士 植本 雅治

(54)【考案の名称】 男性用下着

(57)【要約】

【目的】 男性器官をポケットに入れることで男性器官が脚等に直接触れるのを防止し、さらに男性器官に圧迫感等を与えることなくこれを安定して支持可能である。

【構成】 男性用の下着10の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地2が設けられいる。この下着1の着用時にはこのポケット内に男性器官を入れてこれを収容することができる。この際、生地2の一対の腕部は伸縮性を有しており、また、その内側縁はU字形の形状を有しており、U字状形状部は、ここから男性器官がポケット内に入れられたときに腕部の伸縮性によって男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持する。また、形状がU字形となっているので、男性器官を安定して支持し、かつ男性器官の下部に圧迫感等を与えることなくする。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 男性用の下着の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地が設けられており、該生地は、下着と協働して男性器官用のポケットとして機能する本体部と、本体部の上方に本体部と一体となって形成された伸縮性を有する一对の腕部とを有し、前記一对の腕部は、その各上縁が下着に取り付けられ、外側縁および内側縁が下着に対し開放され、一对の腕部の各内側縁は、前記本体部の上縁と連続して、U字形の形状をなしており、該U字形の形状部は、ここから男性器官が前記ポケット内にいれられたときに、男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持するようになっていることを特徴とする男性用下着。

【請求項2】 請求項1記載の男性用下着において、前記一对の腕部の外側縁には、これに沿って伸縮性部材が配設されており、また、前記U字形形状部には、これに沿って伸縮性部材が配設されていることを特徴とする男性用下着。

【請求項3】 請求項1記載の男性用下着において、前記生地は、伸縮性のある素材で形成されていることを特徴とする男性用下着。

【請求項4】 請求項1記載の男性用下着において、前*

* 記生地には、ダーツおよび／またはイセコミが施されていることを特徴とする男性用下着。

【請求項5】 請求項1記載の男性用下着において、前記生地は、男性用の下着の前身の内側に取付けられるようになっていることを特徴とする男性用下着。

【請求項6】 請求項1記載の男性用下着において、前記生地は、男性用の下着に着脱自在に取付けられるようになっていることを特徴とする男性用下着。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】 本考案に係る男性用下着の一実施例の構成図である。

【図2】 生地の一例を示す図である。

【図3】 (a) 乃至 (d) は図2の生地の作成工程の一例を示す図である。

【図4】 従来の男性用下着の一例を示す図である。

【符号の説明】

1 男性用下着

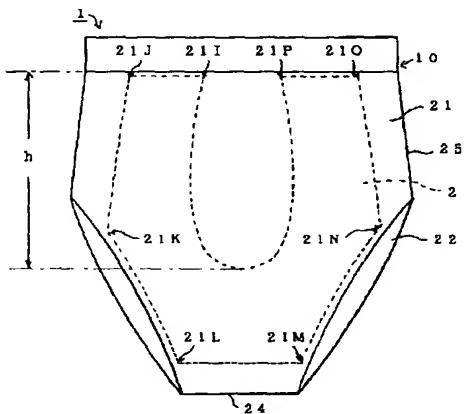
2 生地

5 取付用生地

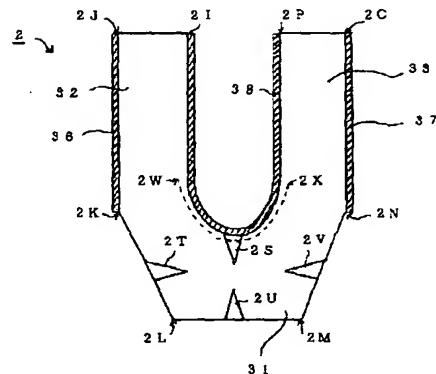
20 10, 20 下着

21 前身

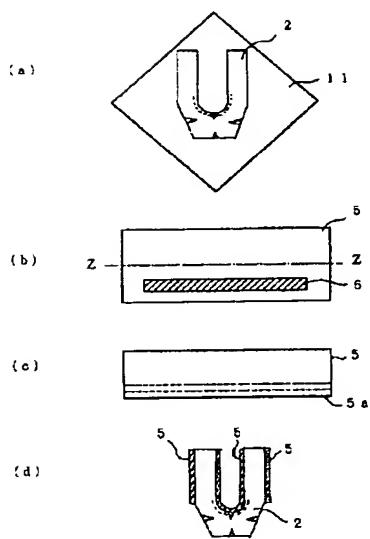
【図1】



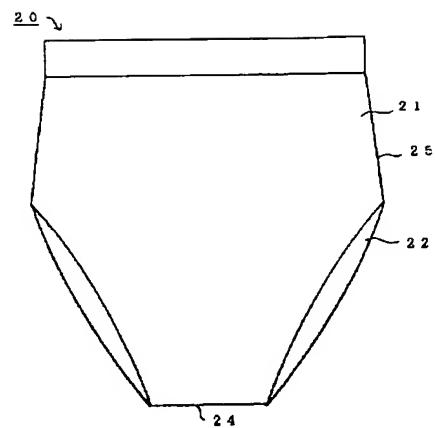
【図2】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、男性のトランクス、ブリーフ等の男性用下着に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、図4に示すような男性用下着が一般的に知られている。図4に示す下着20は、前身21と、後身22と、股部24と、脇部25とから形成されている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

ところで、上述したような男性用下着を着用するときには、男性器官、すなわち陰茎およびこう丸は男性用下着によって保護され、従って、男性器官からの尿等の汚れがズボンに付着したりするのを防止することができる。しかしながら、この場合、男性器官は、脚等と直接接触可能な状態にあり、長時間座っていたり、スポーツを行なっているときなどに、男性器官が脚等に直接触れると、不快であったり、衛生的でないなどの問題があった。

【0004】

本考案は、男性器官をポケットに入れることで男性器官が脚等に直接触れるのを防止し、さらにこの場合に、男性器官に圧迫感等を与えることなくこれを安定して支持することの可能な男性用下着を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本考案は、男性用の下着の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地が設けられ、該生地は、下着と協働して男性器官用のポケットとして機能する本体部と、本体部の上方に本体部と一体となって形成された伸縮性を有する一対の腕部とを有し、前記一対の腕部は、各上縁が下着に取り付けられ、外側縁および内側縁が下着に対し開放され、一対の腕部の各内側縁は、前記本体部の上縁と連続して、U字形の形状をなしており、該U字形の形状部

は、ここから男性器官が前記ポケット内にいれられたときに、男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持するようになっていることを特徴としている。

【0006】

また、一対の腕部の外側縁には、これに沿って伸縮性部材が配設されており、また、前記U字形形状部には、これに沿って伸縮性部材が配設されていることを特徴としている。

【0007】

また、生地は、伸縮性のある素材で形成されていることを特徴としている。

【0008】

また、生地には、ダーツおよび／またはイセコミが施されていることを特徴としている。

【0009】

また、生地は、男性用の下着の前身の内側に取付けられるようになっていることを特徴としている。

【0010】

また、生地は、男性用の下着に着脱自在に取付けられるようになっていることを特徴とする男性用下着。

【0011】

【作用】

上記のような構成の男性用下着では、男性用の下着の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地が設けられないので、この下着の着用時にはこのポケット内に、すなわち生地の本体部と下着の前身との間に男性器官を入れてこれを収容することができる。この際、本体部の上方に本体部と一体となって形成された一対の腕部は伸縮性を有しており、また、その各内側縁は本体部の上縁と連続してU字形の形状を有しており、U字形形状部は、ここから男性器官がポケット内に入れられたときに腕部の伸縮性によって男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持する。また、形状がU字形となっているので、男性器官を安定して支持し、かつ男性器官の下部に圧迫感等を与えることなく済む。

【0012】

【実施例】

以下、本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。図1は本考案に係る男性用下着の一実施例の構成図である。本実施例の男性用下着1は、下着10の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地2が設けられている。なお、図1の例では、下着10として図に示したような在来の下着20、例えばブリーフが用いられているとする。

【0013】

生地2は、例えば図2に示すような形状のものであって、下着10と協働してポケットとして機能する本体部31と、本体部31の上方に本体部31と一体となって形成された伸縮性のある一対の腕部32、33とを有している。本体部31は、縁2K-2L、2L-2M、2M-2Nが下着10、すなわち下着20の前身21の内側部位21K-21L、21L-21M、21M-21Nにそれぞれ取付けられ（例えば縫着され）ており、また、一対の腕部32、33の上縁2I-2J、2O-2Pは、下着10の前身21の内側部位21I-21J、21O-21Pに取付けられ（例えば縫着され）ている。すなわち、一対の腕部32、33の各外側縁2J-2K、2O-2Nと各内側縁とだけが開放されている。なお、一対の腕部32、33の各内側縁は、本体部31の上縁と連続してU字形の形状の開放縁2I-2Pをなしており、この開放縁2I-2Pから男性器官をポケット内に入れることができるようになっている。また、上記の外側縁2J-2K、2O-2Nと、内側縁2I-2Pとには、例えばゴム等の伸縮性部材36、37、38がそれぞれ配設されている。また、生地2全体は、伸縮性のある布、例えばバイアスの布で裁たれており、生地2の部位2S、2T、2U、2Vにはダーツが施され、また、部位2W-2Xにはイセコミが施されている。

【0014】

図3（a）乃至（d）は図2の生地2の作成工程の一例を示す図である。この例では、先づ、図3（a）のように、バイアスの布11で生地2の外形を裁ち、しかる後、部位2S、2T、2U、2Vのところを裁ってダーツとし、また、部位2W-2Xをイセコミする。次いで、生地2とは別に、バイアス布で図3（b）に示すような取付用生地5を裁ち、取付用生地5の中心線Z-Zの一方の側に

伸縮性のあるゴム6を置き、取付用生地5を中心線Z-Zのところで折り返し、ゴム6が内部に収容された図3(c)のような状態にする。しかる後、図3(c)において、折り返された取付用生地5の一方の側縁部5aに例えば縫着を施す。

【0015】

このような仕方で、図3(c)のような状態に仕上げられた取付用生地5を、生地2の3つの縁2J-2K, 2N-2O, 2P-2Iの各々に対応した長さで3つ作成する。そして、図3(d)に示すように、これら3つの取付用生地5を生地2の3つの縁2J-2K, 2N-2O, 2P-2Iの各々に縫着する。しかる後、生地2の上記3つの縁2J-2K, 2N-2O, 2P-2I以外の縁2I-2J, 2K-2L, 2L-2M, 2M-2N, 2O-2Pを下着20の前身21の内側縁21I-21J, 21K-21L, 21L-21M, 21M-21N, 21O-21Pにそれぞれ縫着することによって、図1に示すような男性用下着1として仕上げることができる。

【0016】

このような男性用下着1では、生地2のU字形に裁たれた縁、すなわちU字形形状部2P-2Iについては、下着20に縫着等されておらず、開放されており、男性用下着1の着用時にこのU字形形状部2P-2Iから生地2と下着20の前身21との間に男性器官を入れ、この間に男性器官を収容することができる。この際、一対の腕部32, 33は、これらの外側縁2J-2K, 2O-2Nと内側縁2P-2Iが開放されており、また、伸縮性を有しているので、一種の吊りバンドとして機能し、その伸縮性によって男性器官がポケット内に入れられたときに、U字形形状部2P-2Iが男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持する。このような生地2が下着20の内部に設けられることによって、男性器官がこのポケット内に入っているときに、男性器官が脚等に接触するのを防止できる。これによって、長時間座っているときやスポーツをしているときなどにも快く、また、汗をかいたときなどでも衛生的である。また、吊りバンドとして機能する伸縮性のある腕部32, 33によって、そのU字形形状部により男性器官を確実に支持することができて、この場合でも形状がU字形となっている

ことによって男性器官を安定して支持し、かつ男性器官の下部に圧迫感等を与えることなく済む。さらに、一对の腕部32, 33の外側縁2J-2K, 2N-2OとU字形形状部2P-2Iとに伸縮性部材36, 37, 38が配設されているときは、より伸縮性を高め、男性器官をより安定して支持することができる。

【0017】

さらに、生地2が伸縮性のある素材、例えばバイアス布で形成されている場合には、ポケット内に収容された男性器官に圧迫感を与えるのを防止することができる。さらには、生地2にダーツやイセコミが施されている場合には、生地2に膨らみをもたせ、生地2と下着20との間の空間に男性器官を十分に収容するだけの余裕をもたせることができて、より快適感と安定感を与えることができる。

【0018】

なお、上述の実施例では、下着10として図4に示したような在来の下着20、具体的にはブリーフを用いたが、これに限らず種々の種類の下着を下着10として用いることができる。

【0019】

また、上記例では生地2の縁2K-2L, 2L-2M, 2M-2N, 2I-2J, 2O-2Pを下着10に縫着によって取付けたが、これらの縁を縫着でなく、マジックテープやボタン等で着脱自在に下着10に取付けるように構成するともできる。この場合には、下着10に対し生地2全体を取り外し可能に取付けができ、下着1の洗濯等を容易に行なわせることができる。

【0020】

また、U字形形状部2P-2Iの深さhは、標準的には15cmであり、また、生地2の縁2L-2Mの取付位置については、標準的にはこれを下着20の股部24から6±2.5cm程度上部のところに取付けるのが良いが、使用者の体重、身長等に応じ、U字形形状部2P-2Iの深さhや縁2L-2Mの取付位置は適宜変更でき、縁2L-2Mについては例えば股部24の位置に、あるいは、前身21からさらに後身22まで延び後身22の所定位置に取付けることも可能である。また、生地2の他の縁、例えば2I-2J, 2O-2Pについても前身である。

21の内側ではなく、これを下着10の上縁部等に取付けることもできる。従つて、生地2の取付箇所としては、典型的には下着10の前身21の内側が良いが、必ずしもそれに限定される必要はない。また、生地2の形状についても、これが本体部と一対の腕部とを有しているものであれば良く、図2に示した形状に限らない。

【0021】

【考案の効果】

以上に説明したように本考案によれば、男性用の下着の内部に男性器官用のポケットとして機能する生地が設けられており、該生地は、下着と協働して男性器官用のポケットとして機能する本体部と、本体部の上方に本体部と一体となって形成された伸縮性を有する一対の腕部とを有し、前記一対の腕部は、その各上縁が下着に取り付けられ、外側縁および内側縁が下着に対し開放され、一対の腕部の各内側縁は、前記本体部の上縁と連続して、U字形の形状をなしており、該U字形の形状部は、ここから男性器官が前記ポケット内にいれられたときに、男性器官の下部に当接し、男性器官を下方から支持するようになっているので、このポケット内に男性器官を入れて収容することにより、男性器官が脚等に直接触れるのを防止して不快感を軽減し、衛生的な状態を維持することができ、さらに、この場合にも、男性器官に圧迫感等を与えることなく、これを安定して支持することができる。

【0022】

また、一対の腕部の外側縁に伸縮性部材が配設されており、また、U字形形状部に伸縮性部材が配設されているときには、より伸縮性を高め男性器官をより安定して支持することができる。

【0023】

また、上記生地が、伸縮性のある素材で形成されている場合には、男性器官全体が生地により圧迫されるのを防止できる。

【0024】

また、上記生地に、ダーツおよび／またはイセコミが施されている場合にも、男性器官全体が生地により圧迫されるのを防止できる。

【0025】

また、上記生地が、男性用の下着に着脱自在に取付けられるようになっている
場合には、洗濯等を容易に行なうことができる。。